

補正予算のポイント

平成30年3月
高松市財政課



I . 29年度3月補正予算の特色（一般会計）

（１）国の補正予算に伴う措置・補正（約15.5億円）

- ・都市交通問題対策事業費（ことでんバスの10カード片利用システム導入補助）
- ・小・中学校施設老朽化対策事業費（校舎の外壁改修及び屋上防水工事）
- ・小・中学校トイレ整備事業費（小・中学校のトイレの洋式化）
- ・中学校施設耐震化事業費（中学校施設の耐震化）

（２）持続可能な健全財政に向けた対応（20.0億円）

- ・基金の積み増し（今後の財源不足への対応）

（３）決算見込みなどに対応した増・減額補正（約▲6.7億円）

（４）繰越明許費の措置（全81事業：約70.7億円）

Ⅱ． 3月補正の規模

※以下、四捨五入の関係上、各表間の計数、増減率が合わない場合がある。

一般会計補正額は、国の補正予算に伴う事業費の増や基金の積み増し、決算見込みなどに対応した事業費の増減により、合わせて約29億円の増額補正

(百万円・%)

区分		補正前	補正額	補正後	当初予算比
一般会計 (A)		169,509	2,883	172,393	105.3
特別会計 (B)		113,326	1,452	114,778	101.4
企業 会計 (C)	病院事業	17,065		17,065	99.3
	水道事業	14,761	▲22	14,739	100.7
	下水道事業	21,578	▲361	21,216	98.3
全会計 (A+B+C)		336,238	3,952	340,190	103.0

※特別会計の補正額は国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療事業特別会計、介護保険事業特別会計、母子福祉資金等貸付事業特別会計、食肉センター事業特別会計、競輪事業特別会計、卸売市場事業特別会計、駐車場事業特別会計

Ⅲ. 3月補正の主な内容

(1) 国の補正予算に伴う措置・補正（約15.5億円）

都市交通問題対策事業費

【交通政策課】

補正額	財源
75,000千円	一財 75,000千円

公共交通の利便性向上を図るため、10カードの片利用が可能なシステムのバスへの導入を支援します。

10カード・・・全国相互利用可能な交通系ICカード
(ICOCA・Suica・PASMO等 10種類)



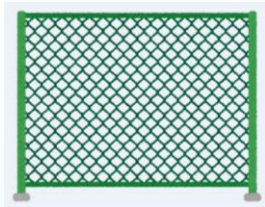
障害者福祉施設等整備事業補助金 【障がい福祉課】

補正額	財源	
2,126千円	国	1,416千円
	一財	710千円

障害者支援施設等の防犯対策の強化を図るため、防犯カメラやフェンスの設置等に係る費用を助成します。

防犯対策強化事業

・障害者支援施設等・・・4施設



防犯対策のイメージ図

港湾建設事業費

【河港課】

補正額	財源	
72,000千円	国	35,000千円
	県	14,000千円
	市債	23,000千円

老朽化した女木港防波堤の改良工事を行います。

津波・高潮関連整備事業費

【河港課】

補正額	財源	
21,000千円	国	10,000千円
	県	1,000千円
	市債	10,000千円

津波対策のため、庵治港胸壁等建設工事を行います。

小・中学校施設老朽化対策事業費 【教育局総務課】

補正額	財源
156,592千円	国
	市債
	一財
	24,124千円
	102,200千円
	30,268千円

小・中学校の校舎の老朽化が著しいため、外壁改修・屋上防水工事をを行います。

	外壁改修	屋上防水
小学校	3校	3校
中学校	1校	

改修前



改修後



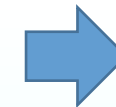
小・中学校トイレ整備事業費 【教育局総務課】

補正額	財源
1,090,512千円	国
	市債
	一財
	321,523千円
	767,800千円
	1,189千円

小・中学校の屋内・屋外トイレの洋式化や多目的トイレの整備を行います。

トイレ改修工事（小学校：6校 中学校：3校）

改修前



改修後



中学校施設耐震化事業費

【教育局総務課】

補正額	財源	
122,910千円	国	40,970千円
	市債	81,900千円
	一財	40千円

天井落下防止対策を講じるため、中学校の屋内運動場の非構造部材（つり天井等）の耐震化改修工事を行います。

香南中学校屋内運動場アリーナ改修工事

改修前



改修後



園舎等整備費

【こども園総務課】

補正額	財源	
11,284千円	国	3,761千円
	市債	7,500千円
	一財	23千円

幼保連携型認定こども園への移行を進めるため、林保育所・幼稚園の増築、改修を行います。



完成予定図（林）

(2) 持続可能な健全財政に向けた対応 (20.0億円)

【基金の積み増し】

財政調整基金積立金 【財政課】

補正額	財源
500,000千円	一財 500,000千円

今後の財源不足に備えるため、積み増しするもの

減債基金積立金 【財政課】

補正額	財源
1,000,000千円	一財 1,000,000千円

市債の償還に備えるため、積み増しするもの

施設整備基金積立金 【財政課】

補正額	財源
500,000千円	一財 500,000千円

施設整備や老朽化市有施設の改修・修繕などに備えるため、積み増しするもの

【平成28年度から29年度末における基金現在高】

(単位：千円)

区分	H28年度末 現在高	H28年度決算 剰余金	H29年度 12月補正後		H29年度 3月補正		H29年度末 基金現在高見込
		積立額	積立見込	取崩見込	積立見込	取崩見込	
財政調整基金	11,995,855	2,000,000	4,566	2,800,000	500,000		11,700,421
減債基金	1,568,689		393	1,047,932	1,000,000		1,521,150
施設整備基金	4,412,838		1,300	1,700,000	500,000		3,214,138

(3) 決算見込みなどに対応した増・減額補正 (約▲6.7億円)

【歳出関係】

① 予定していた事業費の増・減

・増額の主なもの

障害福祉サービス給付費 358,000千円 生活保護扶助費 300,500千円 など

・減額の主なもの

新駅等整備事業費 ▲468,800千円 街路事業費 ▲383,000千円 職員退職手当 ▲18,230千円 など

② 特別会計、企業会計の補正に伴う繰出金等の増・減

国民健康保険事業特別会計繰出金 369,275千円 介護保険事業特別会計繰出金 ▲37,239千円

下水道事業会計負担金・補助金 ▲10,000千円 など

③ その他

過年度収入精算返還金 282,491千円 など

【歳入関係】

- ・ 企業業績の回復に伴う法人市民税の増や固定資産税の増等に伴う市税の増 40,000千円
- ・ 普通交付税、臨時財政対策債の決定に伴う増減 地方交付税 1,808,051千円 臨時財政対策債 ▲210,741千円
- ・ 土地開発公社事業資金貸付金償還金が当初の見込みを下回ることによる減 ▲371,000千円 など

(4) 繰越明許費の措置 (全81事業：約70.7億円)

【国の補正予算に伴うもの】

小学校トイレ整備事業費など 11事業 計1,575,424千円

国の補正予算事業の執行に当たり、実施期間を確保するため、翌年度に繰り越して執行するもの

【その他繰越事業】

高機能消防指令システム等整備事業費など 70事業 計5,494,023千円

関係機関との協議に日時を要したことなど、諸般の事情により、翌年度に繰り越して執行するもの